

実施位置及び形態

- 「駅前通」バス停
(国道7号 東大通交差点～流作場五差路)
- 右ページ「実施概要図」のとおり



〈位置図〉

- 主な安全確保策
 - ・車両誘導 ・歩行者誘導 ・バス停案内 ・バス誘導 (新潟交通)
 - ・沿線パトロール (県警) ・押ボタン式信号機、横断歩道及び音声ガイド



〈写真①〉
車両誘導の状況



〈写真②〉
押ボタン式信号機と
音声ガイド

目的

- 路上バス停を設置したことによる、周辺交通の流れを確認すること。
- 路上バス停の設置時の状況・路上バス停でのバス利用を利用者に体験してもらうこと。
- バス運行や横断歩道等の安全対策など、可能な限り本格整備時の状況を再現し、効果・課題を確認すること。

日程

- 時期 平成28年11月5日(土)から13日(日)の9日間
- 時間 バス運行の始発～最終 (車線運用は終日)

主な検証方法

- 交通実態調査 (自動車交通量調査・歩行者交通量調査・各種データ整理)
- 交通事業者ヒアリング・バス運行データ整理
- 障がい者体験会実施 (車いす利用者(11/8) 視覚障がい者(11/9))
- アンケート調査 (路上バス停利用者(752名) 自動車利用者(3,197名))

広報

- 【市民全体にむけた広報】
 - ・市報にいがた ・新聞「おとなプラス」 ・電子チラシ ・テレビCM ・フリーペーパー「新潟情報」
 - ・チラシやポスター (JR新潟駅・理容店・専門学校・商店連合会)
 - ・デジタルサイネージ(JR新潟駅・白山駅) ・社会実験特設サイト
- 【バス利用者にむけた広報】
 - ・バス車内広告 ・チラシ (現地配布・バス車内)
- 【車利用者にむけた広報】
 - ・ラジオCM ・メール配信、チラシ (商工会議所) ・看板 ・横断幕

利用者数

- 実験期間中1日あたり

平日 約1,100人	土休日 約590人
(前月平均7%増)	(前月平均17%増)

※社会実験期間中に路上バス停を乗降した利用者数。前月平均は10月の平均。

〈実施概要図〉



〈写真⑥〉
「駅前通」路上バス停
の全景



万代シテイ方面 ←

→ 新潟駅方面



〈写真③〉
社会実験に伴ない設置した信号・
横断歩道の利用状況



〈写真④〉
路上バス停の利用状況



〈写真⑤〉
「駅前通」路上バス停 (新潟駅
方面) の状況